

アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2010年6月27日現在

概況 アイダホ州の2010年6月27日に終わる1週間の気象概況は、日中の最高気温は上がり、N地区には降雨があったが他の地区では乾燥気象であった。N地区の最高気温は80～82度Fとなったが、Lewistonでは平均気温は平年を下回った。同地区の1週間の降水量は0.32～1.04インチであった。SW地区の最高気温は91～94度Fとなったが、平均気温は平年を1～4度F下回った。降雨は殆ど記録されなかった。N地区の3月1日からの積算降水量は平均13インチ(330mm)であり、平年を約3.9インチ(99mm)上回っていた。SW地区の3月1日からの積算降水量は平均4.88インチであり、平年を1.13インチ上回っていた。1週間の州平均農作業稼働日数は6.4日(前週:5.1日)であった。Topsoilの土壤水分は前週より“Surplus”が減少し、同時に“Short”が増えた。冬小麦は気温の上昇により急速に生殖成長が進み、全州の小麦の97%が穂孕み期となり70%が出穂したが未だ生育は昨年並びに平年より遅れていた。春小麦は全州の12%が出穂し、N地区だけをみれば18%の出穂であった。春小麦の生育も例年より遅れていた。冬小麦の作柄は気温の上昇により前週より改善した。春小麦の作柄は多少“Good”が増えたが“Excellent”が減少した。2010年6月1日付けUSDAの2010年産冬小麦の生産量予想では、アイダホ州の冬小麦の単収は5月1日予想と同じ85.0 bushels/acre(約5,780 kg/Ha:昨年実績:81.0 bushels)で、生産量は収穫予想面積が増えたこともあり、昨年の約11%増しの62,900,000 bushels(約171万トン)と予想された。

土壤水分(*)

		(%)	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week		0	10	76	14
	Last week		0	3	75	22

冬小麦の生育状況(*)

		(%)	North	Southwest	South-Central	East	State Ave.
Headed	2010		70	91	75	63	70
	Last year		74	100	93	69	77
	Ave.		83	100	95	79	84

冬小麦の作柄状況(*)

		(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week			0	1	9	74	16
Last week			0	4	10	75	11

春小麦の生育状況(*)

		(%)	North	Southwest	South-Central	East	State Ave.
Headed	2010		18	59	41	2	12
	Last year		20	92	61	5	22
	Ave.		21	95	60	18	28

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 ogawa.max@omicnet.comまでお願い致します。

春小麦の作柄状況（*）

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	1	6	79	14
Last week	0	2	6	76	16

*) Source : National Agricultural Statistics Service, USDA-Idaho Field Office. Ave. means average of 2005,2006,2007,2008 and 2009 crop years.

2010年6月1日付けUSDA冬小麦生産量予想

State	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2009	2010	2009	2010		2009	2010
				May 1	June 1		
Idaho	700	740	81.0	85.0	85.0	56,700	62,900
USA	34,485	31,786	44.2	45.9	46.6	1,522,718	1,482,364

以上

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 ogawa.max@omicnet.comまでお願い致します。